

【記念特集】

広報ひらいずみ

700号

広報ひらいずみが、昭和30年9月の創刊以来、60年の歳月を経て700号を迎えました。長年にわたってまちづくりや暮らしを刻んできた本誌。今回の特集では700号を記念して、町の発展とともに歩んできた広報ひらいずみの歴史を振り返りながら、行政と皆さんの架け橋である広報誌の役割についてあらためて考えます。

読まれるために… 広報誌の工夫

1 特集を組む

誌面が行政からのお知らせだけの一方通行にならないように、特集を組むことで、タイムリーなテーマを掘り下げ、知ってもらいたいことや考えてもらいたいことを伝えています。

2 カラーページの増加

最近ではレイアウトや写真の品質が高い「見せる」広報誌が増えていきます。一枚の写真をより効果的に見せるため、カラーページを増やしたり、全ページカラーにする市町村も多く見られるようになりました。

3 連載コーナーの充実

広報誌は子どもから年配までと読者層の幅が広いため、発信する情報も幅広くする必要があります。そのため誌面では、気軽に読める連載コーナーを充実させています。

広報ひらいずみ

700号までの軌跡

広報ひらいずみが、700号までの60年間でどのように移り変わってきたのか。その軌跡を50号ごとに追ってみましょう。読みやすい誌面になるようにページ数や誌面の大きさ、題字などが時代に合わせてさまざま変化していることがわかります。

広報誌の役割

毎月1日に発行し、町内の全世帯に届けている広報ひらいずみ。特集記事やお知らせ記事、イベントのレポートなど町の最新情報を伝えていきます。また町の人たちの取り組みや頑張りを紹介することで、町に対する関心や愛着、誇りを高めることにつながっています。行政の情報を発信するだけでなく、町民の皆さんに自分たちの住むまちに関心を持ってもらうことも広報誌の大切な役割です。

広報誌の内容は？

広報誌は皆さんの生活に役立っているでしょうか。「読みやすい」「面白い」と感じてもらえる誌面でしょうか。通常の出版物であれば読まれ

ない、売れない誌面は購入者がいないため、発行されなくなりません。しかし税金で作られる行政広報誌は、たとえ読者（町民）が読みにくい、つまらないと感じても発行されてしまいます。そのため各自自治体ではどうすれば読んでもらえるか、読みやすくするための工夫を重ねています。（上段参照）

町民が主役の広報誌

広報ひらいずみが創刊されて60年。社会は日々目まぐるしく変化しています。本誌においても、ページ数、誌面の大きさ、レイアウトなど時代に合わせて、その都度変化しています。しかしその中で大切なことは「広報誌は、行政からの一方通行なお知らせであってはいけない」ということです。

これからの歩み

多くの人たちの支えのおかげで700号を迎えることができました。感謝の気持ちを込めながら、町民の皆さんの笑顔がふれ、人や地域が元気になる広報誌を目指し、これからも皆さんと一緒に作っていききたいと思います。

広報ひらいずみでは、町民の皆さんの声を聞き、その思いを伝え、人と地域をさらに輝かせることを心掛けていきます。町でかかえている問題点や現状をお知らせし、みんなで考え、問題解決に向けて取り組んでいくきっかけになればと思っています。そして町民の皆さんが主役であることを忘れずに、楽しみながら広報誌が読める工夫を今後とも考えていきます。

広報ひらいずみが、皆さんに親しまれ、愛される広報誌になるよう努力してまいりますので、引き続き応援よろしくお願ひします。

【記念特集】広報ひらいずみ700号 終わり

広報ができるまで 広報担当奮闘記

1 編集打ち合わせ会議
担当課などで、その月は何をどう伝えるべきか話し合います。

2 現場にて取材
町の行事や地域の人などを取材。皆さんの協力に感謝します！

3 原稿の取りまとめ
役場や地域のお知らせ原稿などの取りまとめ作業を行います。

4 編集（データ入力）
パソコンの編集ソフトで記事内容を入力。作業は深夜まで及ぶことも…

5 校了
完成した原稿データを印刷会社に提出（いつも締め切りには追われています…）

6 印刷
印刷会社の工場です、毎月約300部を印刷しています。

7 配布
広報完成！行政区域長さんを通じて皆さんのお宅に配布しています。



少年就職者 壮行式などの 話題を掲載。 2号以降は題 字が「広報平 泉」から「広報 ひらいずみ」 に変更。B 5 判 4 頁。	昭和30年 4 月15日に平泉 町と長島村が 合併し、現在 の平泉町が誕 生。創刊号は 9月に発行さ れました。B 4判 2 頁。	50号 (昭和35年 4月)	創刊号 (昭和30年 9月)
表紙の写真 と記事は、町 民プールと中 学校相撲場の 落成式。誌面 には写真やイ ラストが増え てきました。B 5判 8 頁。	表紙の写真 と記事は、新 たに結成され た町文化財愛 護少年団。昭 和49年以降表 紙には大きな 写真が使われ るようになります。 B 5判 4 頁。	250号 (昭和53年 8月)	200号 (昭和49年 6月)
表紙は新成 人。平成6年 4月以降、サ イズがA 4判 に変更となり、 現在の誌面内 容に近づきま した。A 4判 20 頁。	表紙は9月 議会定例会。 以前はグラフ や表は手書き が主でしたが、 昭和43年以 降少なくなっ ていきました。 B 5判 4 頁。	450号 (平成 7年 1月)	150号 (昭和43年10月)
表紙は長島 小の田植え体 験学習。600 号記念企画と して以前広報 に出演した人 へのインタビ ューなどを掲 載。A 4判 20 頁。	表紙は8月 16日に行われ たふるさと踊 り。昭和60年 4月以降白黒 印刷ではなく、 2色刷りに変 更になりました。 B 5判 20 頁。	650号 (平成23年 8月)	100号 (昭和39年 5月)
表紙はライ スアート。特 別号などを除 いて全て2色 刷りでしたが、 平成25年5月 以降は表紙が カラーに変更。 A 4判 20 頁。	表紙は滝の 沢地区子ども 会による、親 子での米作り。 誌面には身近 な特集や組み 写真が掲載さ れています。B 5判 12 頁。	600号 (平成19年 6月)	300号 (昭和57年10月)
表紙は長島 小の交通安全 教室。新1年 生へのインタ ビューなどを 掲載。記事が 読みやすいよ うにレイアウト を変更。A 4判 20 頁。	表紙は中尊 寺節分会。500 号記念企画と して、広報の 変遷や題字の 移り変わりな どを紹介して います。A 4 判 16 頁。	550号 (平成15年 5月)	400号 (平成 2年11月)
	表紙は長島 小の交通安全 教室。新1年 生へのインタ ビューなどを 掲載。記事が 読みやすいよ うにレイアウト を変更。A 4判 20 頁。	500号 (平成11年 3月)	350号 (昭和61年 9月)